みらいNEXT

北区GIGAスクール構想通信

— 教育DXで広がる子どもたちの学び —

令和8年10月号

https://www.city.kita.lg.jp/children-edu/schools/1018650/1018654.html

東京都北区教育委員会教育振興部　教育DX推進課（03-3908-9273）

北区GIGAスクール構想通信『みらいNEXT』は、北区立学校における北区ICT環境を活用した取組や家庭と連携する取組等について、保護者や地域の皆様に向けて、教育DX推進課が毎月発行いたします（8月以外）。

北区版「生成AI利用ガイドライン」を改訂しました！

生成AIは、子どもたちの学習で考えを広げたり、学びを深めたりする可能性がある一方、誤った情報を信じてしまうことや、個人情報・著作権の問題、自分で考える機会が減ることへの注意も必要です。

そこで、北区教育委員会では、生成AIを取り巻く環境の変化や技術の進展を踏まえ、児童・生徒が適切に生成AIを活用するために、このたび「生成AI利用ガイドライン」を大幅に改訂いたしました。

「北区版生成AI利用ガイドライン」令和8年10月版
https://www.city.kita.lg.jp/children-edu/schools/1018650/1020128.html

ガイドラインのポイント

❶ 自分で考えることを大切にします



生成AIは、子ども自身の考えを広げ、学びを深めるために活用します。

❷ 学校が認めた環境で使います

北区のGIGAアカウントを使い、教育委員会が認めた方法・機能で利用します。小学校では原則４年生以上が、教員の指導・監督のもとで使います。

❸ AIの回答を、比べて確かめます



まず自分で考え、AIからヒントや異なる視点を得ます。回答は教科書や資料などで確かめ、自分で判断し、自分の言葉で説明できるようにします。

❹ 答えだけでなく、学ぶ過程を大切にします

完成した作品だけでなく、問い方や回答の確かめ方、考えを深める過程も重視します。

❺ 個人情報や他の人の権利を守ります

氏名・住所・写真などの個人情報や、学校・友達を特定できる情報は入力しません。著作権やプライバシーも尊重します。

❻ AIに学習を丸投げしません

AIが作った文章や画像を、そのまま自分の成果物として提出・応募しません。定期考査や小テストでは使いません。

❼ 家庭でも使い方を話し合いましょう



対象年齢や利用規約を確認し、使う目的や終える時刻を親子で決めましょう。悩みや困りごとは、AIだけでなく人にも相談することが大切です。

＊　＊　＊　＊　＊

生成AIを使うこと自体が目的ではありません。子どもたちが自分の力で学びを進められるよう、学校と家庭で支えていきましょう。

きた子ちゃん　こん太コンちゃん

by Toshi & Chappy

「わが家のガイドライン」



利用可能な生成AIはこちらです

GIGAアカウントでログインすることと、教職員や児童・生徒が生成AIに入力した文章や画像、音声、ファイルなどがAIの学習や性能の向上に使われないことを、利用可能な条件としています。

①みんなで生成AIコース
（https://aichat.proguru.jp/）
② Gemini（Gem、Gemini Notebookも含む）
③教育機関向けAdobe Express
④ Canva教育版